


令和6年度エコやまぐち生産計画情報

令和6年6月20日現在

生産者	区分	品目	私のエコやまぐち宣言
株式会社嘉年ハイランド	エコ50	水稻	標高400m山口市の最北部、平安時代に御領にもなった阿武川の源流【水出の泉】をはじめ、豊峰【十種ヶ峰】の湧水が豊富な嘉年地区。ミネラル豊富な源流水を水田に注ぎ、山間地域特有の昼夜の寒暖差が大きい気候風土が嘉年のお米『阿武川源流米』を生み出しています。その恵まれた環境を活かして、単に消費者の安心安全のために農薬や化学肥料を低減するのではなく、自然と共生し地域の生態系や景観を守る「環境にやさしい循環型農業」を目指します。
森田 幸男	エコ50	水稻	化学肥料の削減と有機肥料の効果的な使用により品質向上に努めます。
松富 博司	エコ100	野菜（多品目）	
中野 勝正	エコ50	水稻	
三輪農園株式会社	エコ50	水稻	県内産の鶏糞堆肥、牛糞堆肥などの有機物施用による土づくりと持続可能な地域循環型農業に取り組んでいます。
有限会社 石川果樹園 代表取締役 石川 朗	エコ50	ぶどう	緑の森に囲まれた果樹園から美味しいフルーツをお届けします。
ふくじろう 代表 福本 直樹	エコ100	ぶどう	除草剤は使用せず、ほ場内の植物や生き物の多様性を維持するよう心がけて栽培しています。
	エコ50	ぶどう	
北村 富夫	エコ50	水稻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場周辺の草刈に努めて病害虫等の対策をする</li> <li>・秋排わらをすき込み化学肥料の削減効果</li> <li>・今後有機栽培を目指す</li> </ul>
稲木 高広	エコ100	水稻	子供たちに安全な食事の提供を目指し、有機農業を啓蒙していきます。
		大豆	
農業組合法人 杵崎の里	エコ50	レモン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機質肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正量での効果的な使用を心がけます。</li> <li>・病害虫が発生しにくい環境づくりを心がけます。</li> </ul>
有限会社 鹿野アグリ	エコ50	水稻	
伊藤 章	エコ100	野菜（多品目）	安心・安全にこだわったおいしい野菜づくり
農事組合法人 あいさいの里	エコ50	水稻	
岡村 有修	エコ50	水稻	自然の恵を大切に、安心しておいしく食べられる米づくりに取り組んでいきます。
河村 和彦	エコ50	野菜（多品目）	自然環境に配慮した農作物の生産により持続可能な農業を次世代に繋げて行きます。機能性の高い農作物を提供することにより、生活者の健康維持に貢献します。食と農のコミュニケーションにより、食育活動や地域農業の振興に取り組みます。
	エコ100	カリフラワー	
あわや自然農園 粟屋 怜	エコ100	野菜（多品目）	
農事組合法人 むつみ	エコ50	水稻	
有限会社山口健康生活センター 代表取締役 長廣 達也	エコ100	水稻	当社は創業50年余年の自然食品店です。そして先代である父が生産者の見えるお米を販売したいと農業を使用しない農業を始めて30年以上になります。昨年完全に私の代へと引き継いだのを機に、より皆様へ安心して食べていただける生産者として、エコ認定に登録いたしました。肥料も自家製のほかしを使用し、タニシ駆除も、草取りも人力で行っておりますので、玄米で食べられても安心です。今後も野菜を含め生産をしていきたいと思っております。
	エコ100	さつまいも	
ないだ農園 松本 司	エコ100	なす、オクラ	周防大島の恵まれた環境の中で、人と畑と自然に気づかい、健康で美味しい野菜や果物を作っていきたい。
	エコ50	温州みかん	

生産者	区分	品目	私のエコやまぐち宣言
岩元 浩一	エコ50	水稲	令和6年度は、れんげ草の種を秋まきして春にすき込み緑肥を活用し減農薬で、コシヒカリを栽培します。また、パーク堆肥を春まきしてすき込み減農薬で、恋の予感を栽培します。両者の持つ利点を活用して田んぼの生き物にも極力優しく景観も大切にしたい循環型農業を行います。
ファーム川友 川口 道則	エコ100	水稲	農薬、化学肥料は全く使用しません。またハゼかけ天日干しの乾燥も含めて自然とともに、自然に任せた、自然豊かな栽培を行っています。  栽培状況はInstaに掲載しています。 皆さんチェックして下さい！！ ⇒【ファーム川友】で検索！  FARM_KAWATOMO
霜田 洋治	エコ50	水稲	
金井 英明	エコ100	水稲	濁水処理をします。
神徳 治雄	エコ100	水稲	農薬や化学肥料の使用により多くの昆虫や生物が影響を蒙っています。農薬と化学肥料をまったく使わないことによって自然環境の維持と再生を追い求めます。
内田 勝美	エコ50	水稲	環境の為に濁水排水抑制に努め、少しでも安全・安心な米の生産に努めます。
村田 圭	エコ100	野菜（多品目）	環境にも人にも優しい野菜作りを心がけます。
穴戸 宣之	エコ100	水稲	農薬・除草剤・肥料を一切使用しない、環境に配慮した持続可能な農業を行う。
農事組合法人 片山	エコ50	水稲	・地域の特性は、寒暖差が大きく（中国内陸盆地）美味しい米の産地です。 ・用水が後背山地からの清水など農産物生産の最適地です。 ・濁水の排水は、排水弁の調整板及び下位圃場へ直接排水などにより出来るだけ押える。 ・有機質肥料は有機性に配慮した成分の組合せにより有効な適正量の使用に努めます。 ・農薬の使用は、最低限度に止め、化学肥料も極力使用しません。
合同会社 有機の里	エコ100	水稲	地域課題の一つとして耕作放棄地を減らし、これからの地産地消を目指していきます。また、先輩農業者、住者方の知識技術など未来の子供たちに伝えることができればなど日々活動しながら考えながら模索し、私達団体は様々な角度で持続可能な農業をめざしております。
徳原 一彦	エコ100	水稲	堆肥等の有機質による、循環型農業に取り組む
	エコ50	水稲	
仁保ふれあい米生産者部会	エコ50	水稲	生産者の皆さんがおいしい米づくりに取り組まれています。
上野 富士男	エコ100	水稲	環境負荷を一つでも減らして次の世代へ送る。
倉重 由美子	エコ100	水稲	人手不足や鳥獣の被害等農薬を取り巻く環境が厳しくなりつつありますが、頑張る環境や人に優しいエコ栽培を続けていきたいと思っています。
	エコ50	水稲	
坂津 久志	エコ100	水稲	
小山 良平	エコ100	水稲	微生物の餌となる植物性有機物の投入により微生物が活性化する土壌づくりを行い、微生物の分解作用による元素変換の循環を促し作物に還元する、自然の循環の仕組みを活かした人と自然が共生する農業を行います。
村川 悦夫	エコ50	水稲	自然環境に配慮し、濁水の排出をできる限り低減します。有機肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正量で効果的な使用を行うことで、使用量の低減を図ります。エコやまぐち特別生産米は主に鶏糞を使用した自然由来の有機肥料のみの栽培を計画します。また、対象農地以外でも同様の基準により生産します。
中原 義治	エコ100	水稲	笑顔
	エコ50	水稲	
農事組合法人 おやま	エコ50	水稲	みどりの食料システム戦略の方針に従い、化学肥料と化学合成農薬の使用比率を低減させるとともに、持続可能な取り組みを継続するためにも、毎年の土壌分析実施と結果を参考に関係機関の方々に相談しながら進めていく

生産者	区分	品目	私のエコやまぐち宣言
農事組合法人 周防江崎	エコ50	水稲	
農事組合法人 ウエスト・いかち	エコ50	水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正な使用を心がけます。</li> <li>・防除、除草剤散布の際は薬液の必要量を正確に計算し、残らないように作ります。</li> <li>・生産資材の容器、袋などをほ場周辺に放置しないで、所定の場所に保管します。</li> <li>・ほ場および畦畔の管理を徹底し、田面水の漏出や濁水の排出を抑えます。</li> </ul>
柴田 敏彰	エコ100	水稲	「食の安全」を目指し、「化学農薬・肥料不使用栽培技術」の向上に努力します。
	エコ50	水稲	
平岡 茂一	エコ50	水稲	有機肥料を主体として足りない所を化学肥料で補います。環境負荷低減に努めます。
農事組合法人 内日三町生産組合	エコ50	水稲	濁水の排出をできるだけ抑えます。 田んぼの生き物調査を行います。 有機質肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正量での効果的な使用を心がけます。
佐伯 博	エコ50	水稲	
農事組合法人 21世紀フラワーファーム	エコ100	ブルーベリー・にんにく	小規模な農園として、生き残るために、安心・安全なものを丁寧に作り、他と差別化した作物作りを頑張っています。
山本 純一郎	エコ100	水稲	農薬・化学肥料不使用の田んぼで、自然が稲を育てます
株式会社徳佐農民	エコ50	水稲	美味しいの大前提に安心があるべき、そう考えて百姓をしています。 徳佐の冷涼な気候の中で、中国山地の沢の一番水で栽培出来る圃場で取り組んでいます。 有機資材や有機肥料を施用し、農薬や化学肥料の使用を抑えた栽培、また、排水やドリフト等での環境負荷に対し配慮した管理を心掛けております。 お腹を満たすと同時に、気持ちも満たせる農民を目指しています。
農事組合法人 長小野	エコ50	水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コープやまぐち」さんとの契約栽培も27年目を迎え、春の田植え、秋の稲刈りと年2回の交流会を開催し、お互い顔の見える信頼関係を築き安全・安心・美味しい良質米（コープ ふれあい米）の生産に努めます。</li> <li>・圃場周辺の草刈りを徹底して、病害虫対策に努めます。</li> </ul>
福賀スイカ部会	エコ50	すいか	稲わらやカヤなどの粗大有機物と地元産牛糞堆肥を使用し、保水性・排水性の良い土になるよう心がけています。
高橋 修三	エコ100	水稲	「食の安全」を目指し、「化学農薬・肥料不使用栽培技術」の向上に努力します。
農事組合法人 小行司	エコ50	水稲	
古川 松生	エコ50	ぶどう・かき	消費者の皆様へ、食の安全に信頼を持ってもらう手段としてエコ50に取り組んでいます。 農薬は定められた基準を遵守して使用すれば食の安全は確保できますが、それでも使用しないで栽培できれば生産者としても喜ばしい限りです。今は、残念ながら農薬不使用での栽培は困難なのが現状ですが、可能な限り農薬の削減に努力していきます。
伊丸 泰生	エコ50	いちご	いちご 1 高畝・高さ45cm、溝幅120cmの土耕栽培で栽培します。 2 疎植え（株間30cm）、有機肥料100%（化学肥料栽培期間中不使用）、南北畝による日照確保、鮮度良く、日持ち、固く、最高の食味を味わえます。
	エコ50	水稲	水稲 1 田んぼの生き物（水中昆虫）に優しい環境作りを行います。（例 枯れ草の投入） 2 自然態（年内中に発酵鶏糞や有機肥料を散布耕起し、植え付けから刈り取りまで肥料を補給しない）で育てるよう心掛けます。 3 疎植え（株間26cm）、耕起方法の改善、遠赤外線乾燥方式、等を導入しています。
かいたファーム 海田 幸二	エコ50	ぶどう・なし	圃場・圃場外での除草剤は一切使用しません。
森部 実喜	エコ100	水稲	「食の安全」「循環型生産」を目指し、「化学農薬・肥料不使用栽培技術」の向上に努めます。